

第5回田原市男女共同参画推進懇話会次第

日時 平成20年10月30日(木)

午後1時30分から

場所 田原市役所北庁舎 300会議室

1 あいさつ

2 議 題

(1) 委員の異動について(報告)

(2) 議事録の公表方法の変更について

(3) 平成20年度に市が実施する事業について(報告)

① 裁判員制度による模擬裁判

② 男女共同参画フェスティバル・あいち国際女性映画祭2008

③ 情報誌発行・職員研修などの啓発事業

(4) 各委員による取り組み状況(報告)

(5) 市民意識調査の結果報告と、今後の取り組みに向けての意見交換

3 その他

・連絡事項

① 平成20年度東三河五市男女共同参画学習交流会について

② 次回会議の開催予定について

・その他

<配布資料>

【資料1】 田原市男女共同参画推進懇話会委員名簿

【資料2】 第4回田原市男女共同参画推進懇話会議事要旨

【資料3】 市の男女共同参画関連事業の実施概要

【資料4】 男女共同参画フェスティバル・あいち国際女性映画祭 ～開催状況～

【資料5】 各委員による取り組み状況

【資料6】 田原市男女共同参画に関する市民意識調査（報告書要約）

【資料7】 田原市男女共同参画に関する市民意識調査報告書

田原市男女共同参画推進懇話会委員名簿

(平成 20 年 10 月 30 日現在)

通番	役職	氏名	備考	出欠
1	会長	山本 和子	学識経験者) 愛知大学短期大学部講師	
2	副会長	中村 都祁子	その他市民) 元田原市男女共同参画推進検討会議会長	
3	委員	太田 由紀夫	市の機関) 田原市議会議員	欠
4	"	鳥居 和子	防災関係) 田原市防災会議委員 (田原市赤十字奉仕団委員長)	
5	"	山本 明子	教育関係) 田原市教育委員会委員	
6	"	斉竹 通代	") 子どもセンター情報誌編集委員	
7	"	河合 美恵子	農水産関係) 田原市農業委員会委員	
8	"	伊藤 立	") 田原市認定農業者連絡会会長	
9	"	大久保 哲夫	") 愛知みなみ農業協同組合人事課長	欠
10	"	荒木 英夫	") 中山漁業協同組合長	欠
11	"	鈴木 正徳	商工観光関係) 田原市商工会事務局次長	
12	"	上村 ひさ	") 元渥美商工会女性部長	欠
13	"	稲垣 人美	") 田原市観光協会 旅館業組合員 (龍宮の宿)	欠
14	"	金田 昌久	企業関係) (社) 田原青年会議所幹事	欠
15	"	堤内 真一	") トヨタ自動車(株) 田原工場工務部主査	
16	"	岡本 陸男	地域団体) 田原市校区総代会長	
17	"	近藤 信子	") たはら国際交流協会会員	
18	"	松本 耕治	福祉団体) 田原市社会福祉協議会総務課長補佐	
18	"	田中 敢	") 愛知厚生連渥美病院総務課長	欠
20	"	村松 洋子	その他市民) 愛知県男女共同参画社会支援事業研究員修了生	欠
21	"	森下 静子	その他団体) 女性会議WIT ウィット代表者	
22	"	八木 学	市の機関) 田原市総務部長	

※ _____ 異動又は追加による新たに就任した委員

田原市男女共同参画推進懇話会事務局

田原市総務部企画課

(課長) 大谷紀夫、(課長補佐兼企画係長) 鈴木嘉弘、(主任) 大和良行

第 4 回田原市男女共同参画推進懇話会議事要旨（案）

- 1 日 時 平成 20 年 5 月 19 日（月） 13：30～15：30
- 2 場 所 田原市役所北庁舎 300 会議室
- 3 出席者 ○委員 17 名 山本和子（会長）、中村都祁子（副会長）、太田由紀夫
富永道子、齊竹通代、中神眞智子、伊藤立、大久保哲夫、鈴木正徳
上村ひさ、金田昌久、堤内真一、岡本陸男、近藤信子、松本耕治
田中敢、森下静子（欠席 4 名：鳥居和子、荒木英夫、稲垣人美、村松洋子）
- 事務局 3 名 大谷企画課長、鈴木課長補佐、鈴木主事補

4 議題要旨

（1）報告

①委員異動の紹介 … 自己紹介

- ・旧委員）能勢輝正→ 新委員）金田昌久 ※田原青年会議所所属
- ・旧委員）田中義道→ 新委員）岡本陸男 ※校区総代会長

②委員連絡票による意見等 … 事務局説明（資料 2）

- ・意見＞ 前回会議で、条例・要綱、懇話会の趣旨、ジェンダーの理解ができた。
- ・意見＞ 保育園の園児受入体制では、休日・夜間保育、病児などの保育体制を整えることの必要性を感じた。

③田原市男女共同参画推進プランに基づく事業実績 … 事務局説明（資料 3）

- ・市の取組状況を報告（記述省略：資料 3 参照）

- 質問＞ 報告のなかで、児童クラブの実績が良い理由は何か。（山本会長）
→ 事務局回答＞ 新市長の方針（子育て支援に力を入れる）による。

（2）グループワーク

① 委員より提出された男女共同参画を阻む要因 … ※事務局説明（資料 4）

- 問題点・課題として、「男性優先の社会・社会参画する女性の少なさ」、「女性が働き続ける際の障害」などが出された。
- 解決したいこと・目標として、「女性登用の拡大」、「女性が働き続けるための改善」などが挙げられた。

② トヨタ自動車(株)の取組紹介 … 堤内委員による説明（資料 5）

- グローバルに事業展開するなかで、女性の社会進出に関して日本はかなり遅れていることを感じている（女性管理者数、女性のプロ意識など）。
- ・女性特有の理由で能力が発揮できないことに対応し、会社も仕組みを変えていくが、女性も自身の置かれた立場・役割を認識し、「余人をもって代え難い人材になる」という気概を持って仕事に向き合って欲しい。

- ・上司の理解促進活動を行い、女性社員の問題を吸い上げられるようにした。男性上司に言いにくいこともあることから、各職場に保健婦を置いた。
- 仕事と育児(介護)の両立支援として、妊娠期には、産前産後休暇の他に医師等の指導があれば時差出勤や短縮勤務、現場の女性は、休憩時間の延長・回数の増加、作業制限、休務休職制度が取れるようにしている。
- ・育児期は、子どもが産まれてから2年間の休職制度があり、休職中も休職者と職場とのコミュニケーションをとれるように配慮している。
- ・フレックスタイム制を導入するなかで、女性は柔軟な勤務体制ができるようにしている。更に、部分的在宅勤務、15:00以降は在宅勤務を認めるという制度もある。また、深夜労働の免除、授乳などを想定した育児時間を設けている。
- 従業員6万7千人のうち女性は1割弱、その平均年齢は29.7歳、出産・結婚退職する者が多い。育児休暇を取得して復帰するが、2人目の出産で辞める人が多い。
- ・事業所内託児施設は豊田市近辺の話で、田原工場周辺ではまだない。田原工場は、現地採用で実家出勤しているため、子どもが産まれても両親が面倒みてくれている。
- ・女性寮を整備し、全国採用の準備をしていますが、こういった人達が結婚・出産した場合は、近くに親族がいないため、どのようにサポートしていくかが課題となる。
- ◎意見：世界一のトヨタ、日本一の農業がある田原市で、世界一らしい働き方、日本一らしい働き方、後継者、就職希望者が働きたいと思う環境を整えていくことが、田原市の男女共同参画を考えていく上で不可欠ではないかと思う。(山本会長)

③ 事例検討(グループワーク) … 山本会長進行

◀検討テーマ・補足説明▶

- ◎会長：農業の後継者問題をテーマとして、グループワークを行う。後継者と嫁不足は、全国どこでも起きている問題で、もし自分の身近でこういった問題が起きた時、自分はどうか、またなぜそう思うのかについて話し合ってもらいたい。
- ◎会長：農業分野の女性の問題の一つに、女性のただ働きがある。物も言わずにもくもくと働くのが伝統的だった。50~60歳代の女性のなかには、自立してやっていきたいと考えている人もいるが、実現できないのが現実と思う。
- ・農家も会社のように約束事を設けようとする、夫や両親から出て行けといわれかねないが、文書化した家族経営協定を作ろうというのが、今の農家の目標です。
- 中神委員：家族経営協定の数は増えているが、自らの意向で「家族経営協定」を結んでいる人は少なく、知らない人も多い。実際は、経営上で金を借りて拡大する場合やリース契約を結ぶ際に、協定が条件となっていることが増加の要因となっている。
- ◎会長：このように自立した農業従事者になるための女性の動きが始まったばかりだが、農家は一農家一申告という制度的問題もある。元々、長男が相続するという古い伝統の中で、女性が権利を持ってない。
- ・農業を知っているグループ、知らないグループで違う意見が出て構わない。農業を知らない人が発言して、それが誤解だとしても、その誤解が世間でまかり通っている考え方かもしれない。その中でこれからのことを考えていくことも大切と思う。

《主な意見》

- 後継者問題は、農業に魅力がないことが原因。農業は他の産業に比べてイメージダウンしており、子ども達、若者に、農業は頑張れば儲けられることを伝えていない。
- 一番大きな問題は、女性がマイナスイメージを持っている（特に農家の母親）。この認識を改めるには、大変でも経営に携わってやりがいを感じる。今後、家族経営協定の締結を促進する必要がある。
- 女性は、就業時間が不規則なこと、泥の付いたジャージのまま買い物に行くことなどの面を嫌がる。生活などに必要な時間を確保することが重要。
- 家が農家だったが、農業以外にも大変な仕事があるのに、なぜ農業は人気がなく、嫁がこないのか。ルールや仕組みを変えることが大切なのは。
- サラリーマンと違って休みも決まっていないことに問題がある。
- 農家の嫁でも給料がもらえて、自分の自由に使えるお金が持てたら問題はないと思う。
- 農家は嫁が欲しいが、娘は農家に嫁がせたくないという。自分で携わって大変さを知っているから、娘にはやらせたくないと思う。
- 農家も大変だと思うが、旅館に嫁ぐと言われても考えてしまう。
- 後を継がせたいかは、その経営状況なのかによって判断することとなる。
- 農業は、市場で販売価格が決まるなど、外的要因に左右されるため、それをやりくりする頭脳も必要。そうした能力があれば継がせても良い。
- 自分の意思が大切。自分は脱サラして酪農を始めた。
- 今の農業は、億単位の投資をしなければ成立しない。経営の基礎（設備など）が出来ているのであれば、それを放り投げることはどんな業種でもしたくないはず。
- 小規模農家だと、一家族だけでやると繁忙期などがあり大変だけど、いくつかの家族同士で協力し合えば、余裕ができ、女性の楽しみができると思う。
- 県の農業委員会で成功例を聞くと、家の中も男女共同参画が基本で、家事も経営も一緒に相談し、共同経営者になっている。農業の楽しさを子どもに伝えること、パートナー同士が尊重しあい、ちゃんと自分の給料が得られるように協定ができるようにする。
- 経営協定などで文書化しないと、女性はタダ働きや我慢することが多くなってしまう。
- お金だけではないことを示すことが必要。仕事はやりがいがないと面白くない。夢を持てるような経営ができるかどうか。牛を沢山飼うことは、男の浪漫でありステータスのような面もある。アメリカでは、大統領も牛を沢山持っている。
- 農家要件があっても、農業をやりたいでも農業ができない。漁業もそうだが。農業やりたくて農業大学にいったらすぐに農業が出来ない現実がある。
- 自分の人生を選ぶ時に、自分自身を大切にできる生き方を選ぶと思うが、農業はそれができないから選ばれないのではないかと。やはり、男女共同参画が大切だと思う。
- 家庭の中でも、コミュニケーションができない時代。また、親が子供に手本を示すことが大切で、子供の意見ばかり尊重するのはどうかと思う。生活はお金なので、農業においてもその点はしっかりしないとイケない。
- 50歳代で妻も子どももいない人もいる。パートナーを見つめるには、身なりと会話が大切で、50歳代の人にはこれが苦手。お見合いでなく、恋愛結婚が主流なため、自分から嫁を見つけてこなければいけない。

(3) その他

① 広域連携による道路整備シンポジウムのお知らせ … 太田委員紹介

※イベントPR (省略)

② 女性のための心理学講座のお知らせ … 森下委員紹介

※イベントPR (省略)

③ 男女共同参画フェスティバル実行委員会の委員募集 … 事務局説明 (資料7)

○質問> フェスティバルはこの懇話会で行うのではなく、新たに実行委員会を新たに設ける必要があるのか。(太田委員)

→ 事務局回答> フェスティバルのためだけに集まる実行委員会とし、懇話会委員の方々のほか、公募で運営をして頂ける希望者を入れる形態にした。

④ 模擬裁判の開催 … 事務局説明 (資料8)

- ・7月6日(日)午後1時から田原文化会館多目的ホールにて、大塚鎗子先生を講師に迎えて、裁判員制度による模擬裁判を行う。
- ・主催団体を広報募集した結果、女性会議WITから応募があり、市と一緒に運営して頂くこととなった。
- ・裁判のテーマは、ドメスティックバイオレンスで、市長、懇話会委員、女性会議WITのメンバーに出演者して頂く。※詳細は、この会議終了後打合せ。

⑤ 田原市男女共同参画推進懇話会設置要綱の変更等 … 事務局説明 (資料9)

- 一点目は、懇話会設置要綱を改正し、市総務部長を委員に加え、市民、市民団体、事業者、議会の皆様と一緒に、男女共同参画社会の実現のための検討に加わる。
- 二点目は、懇話会委員の任期は、設置要綱に「2年以内」と規定され、具体的な任期終了日が不明確であった。これ今年度末の平成21年3月31日とさせて頂く。

⑥ その他連絡事項 … 事務局

○次回は10月中旬の開催を予定。

- 5 資料
- [資料1] 田原市男女共同参画推進懇話会委員名簿
 - [資料2] 委員連絡票により提出された意見
 - [資料3] 田原市男女共同参画推進プランに基づく実施事業の実績
 - [資料4] 委員より提出された男女共同参画を阻む要因
 - [資料5] トヨタ自動車株の取り組み
 - [資料6] 事例検討
 - [資料7] 男女共同参画フェスティバル実行委員会
 - [資料8] 模擬裁判の開催

以上

市の男女共同参画関連事業の実施概要

— 平成20年10月22日 男女共同参画推進ワーキング会議整理 —

1. 企画課における平成20年度予定業務の取組状況

① 裁判員制度による模擬裁判

・7月6日(土) 13:30~15:30 田原文化会館多目的ホール

◎講演：大塚鎗子教授

◎模擬裁判：テーマ「DV」

出演) 市長、懇話会委員、女性会議ウィットWITほか

・観客数(アンケート回収数)：106名

*状況は男女共同参画だよりに掲載



② 男女共同参画フェスティバル・あいち国際女性映画祭

※別添資料

③ 男女共同参画だより

・「Walk Together Vol.3」8月18日発行、22,000部(全戸配布+商工会等配布用)

・「Walk Together Vol.4」2月発行予定、22,000部(全戸配布+商工会等配布用)

④ 男女共同参画に関するパンフレット

・「企業向け仕事と子育て等両立パンフレット」10月完成、2000部(商工会等配布)

⑤ 男女共同参画に関する市民意識調査

・8月実施、送付1000人・回収414人、印刷70冊(懇話会・ワーキングほか)

・調査項目：男女平等、結婚・家庭生活、子育て・教育、働くこと、地域活動、介護、人権など

⑥ 男女共同参画に関する市職員(管理監督者)研修

・7月3日(午前・午後) 愛知大学短期大学部講師 山本和子氏

・テーマ「男女共同参画の一層の理解と啓発活動に向けて」

・出席者197人(1回目96人 2回目101人)

⑦ 愛知県男女共同参画社会支援セミナー派遣支援

・交通費支援(永田みよ江さん) ※H21年度の参加者募集

⑧ 田原市男女共同参画推進懇話会の運営事務

●第4回(5月19日)開催 市の事業実績(H19年度)、事例報告、農業関連・イベントに関する意見交換

●第5回(10月30日)開催 市の事業実施状況、市民意識調査の結果、各委員の取組状況

○第6回(3月中旬)予定 各委員の取組状況、H21年度に向けての調整事項

⑨ 田原市男女共同参画推進ワーキング会議の運営事務

●平成20年度第1回(5月9日)開催 市の事業実績(H19年度)、企画課事業・各課事業の計画

●平成20年度第2回(10月22日)開催 懇話会協議状況、市民意識調査結果、各課取組状況

○平成20年度第3回(3月中旬)予定 各課取組状況、H21年度に向けての調整事項

2. 各課における関連施策の取組状況

※平成20年度第2回ワーキング会議における担当者コメント（未確定な内容もあり）

- ①総務課 ○市民協働の方針に、男女共同参画の視点を加味している。
○各種委員に女性を登用して行きたい。
- ②人事課 ○市役所職員の女性比率は41.3%、女性の監督者（係長級）以上は24%程度。
○報酬審議会委員8名のうち女性2名。
○本年度、女性リーダー養成講座に1名派遣し、H21年度も継続予定。
○H21年度は30歳前後の女性職員の企業派遣を計画。
- ③福祉課 ○各種委員への女性登用を推進している。
○結婚相談に、女性の登録者が増えている（男女比2：1）
○障害者の相談支援として、母親の負担軽減に取り組んで行く。
○審議会等委員では、一般市民枠で女性を選任して行きたい。
（団体推薦や各種団体会長職の充て職により、女性選任が困難な場合も多い。）
○老人クラブ事業への参加は女性の割合が高いため、連合会で女性リーダーの育成を行うなど女性のパワー活用を図って行きたい。
○家族や公的介護には限界があり、地域でのボランティア介護を促進して行きたい。
- ④児童課 ○H21年度に次世代育成支援計画の見直しを行うことから、本年度は子育て世代へのアンケート調査と現状分析を進めて行きたい。
- ⑤健康課 ○保健対策推進協議会委員は、13名のうち女性が5名であり、この比率については維持してきたい
○がん対策とし、女性特有の20歳からの子宮がん検診、30歳からの乳がん検診の啓発に努め、受診率を上げ、早期発見に努めたい。
○健康たはら21計画の推進とし、妊婦の禁煙支援と共に、母子の受動喫煙を防止していくため、地域ぐるみの喫煙対策を推進したい。
○地域の子育て支援者として始まった「子育て安心見守り隊」の活動を支援し、安心して子育てのできる地域づくりに努めたい。
- ⑥エコネ推進室 ○エコ地域協議会の専門部会は、委員12名のうち女性が4名。
○エコクッキング教室に父親が参加してくれるように工夫して行きたい。
- ⑦商工観光課 ○市民まつり実行委員会には女性も多数参加し、女性ならではの意見や提案もある。
○観光協会の「おもてなし研修」に男性の参加も見られる。
○田原市地域職業相談室において、パート就労希望者に対して、月1日以上相談日を定めて、求人情報の提供及び職業相談を行い、主婦層を中心とする雇用の場を確保して行きたい。
- ⑧農政課 ○食育推進計画策定委員は女性4割。男性が関わりやすい事業展開を図りたい。
○H21年度の予算関連では、農業団体への補助対象に女性団体も考えて行きたい。
○酪農ヘルパー制度で、畜産農家が休みを取れるようサポートしている。
- ⑨農業委員会 ○農業委員改選により、女性は3名（1名増加）で3名とも議会推薦。
○女性農業団体と農業委員の意見交換会を開催したい。
○家族協定については、農業委員会事務局としてサポートして行きたい。

- ⑩管 理 課 ○教育委員会委員改選により、女性委員1名を登用した。
- ⑪指 導 課 ○女性役職者数は、校長2名、教頭2名、教務9名、校務8名である。計23名。
○教育現場では、男性職員と女性職員が協力して学校運営を行っている。
○市内女性職員の研修会に、男性の職員やPTAの参加を進めている。
- ⑫生涯学習課 ○スポーツでは、バレーボールなど女性が活躍している活動がたくさんある。
○審議会等委員は充て職が中心で女性登用は難しい。学識経験委員に女性を考えたい。
- ⑬防災対策室 ○自主防災会を育成していく中で、女性クラブの必要性をPRしている。
(単に炊き出しや介護要員としてではなく、女性ならではの意見に期待している。)
(女性しか家に居ない時に、災害対応できるように訓練参加を呼びかけている。)
- ⑭企 画 課 ○国際化計画を策定しているなかで、活動主体として期待が大きな女性が活躍できるような取組を位置付けて行きたい。

3. 企画課における平成21年度計画業務(案)

- ① あいち国際女性映画祭【H19 継続】・男女共同参画フェスティバル【H20 継続】
- ② 男女共同参画だより【H19 継続】
- ③ 男女共同参画に関するパンフレット【H19 継続】
- ④ 男女共同参画に関する市職員(管理監督者)研修【H19 継続】
- ⑤ 愛知県男女共同参画社会支援セミナー派遣支援【H19 継続】
- ⑥ 男女共同参画推進懇話会の運営事務【H19 継続】
- ⑦ 男女共同参画推進ワーキング会議の運営事務【H17 継続】
- ⑧ その他男女共同参画推進に関する事務(5市連携ほか)

－ 以上 －

男女共同参画フェスティバル・あいち国際女性映画祭

～ 開催状況 ～

H20. 10. 22 企画課整理

1 男女共同参画フェスティバル（第1回）

[開催目的] 平成18年度策定の田原市男女共同参画推進プランに掲げる「みんなが自分らしく輝けるまち」の実現を目指し、その内容等の啓発、担い手となる一般市民・各種団体等の自主活動の促進を図る。

[開催日] 平成20年9月6日（土）10:00～16:15

[会場] 田原文化会館多目的ホール及び通路

[主催] 男女共同参画フェスティバル実行委員会（男女懇話会及び公募委員）

[参加団体] 団体及び個人（計39） ※参加公募

[来場者] 約400人（うち団体関係者約100人）

[実施状況]

■パネル展示



■手作り物品販売

■教室等

■交流広場（スペース）



■ステージ発表



[参加団体アンケート結果]

○今回のイベント：良かった88% ○開催時間：ちょうど良い94% ○開催時間帯：この時間帯で良い75%

○開催場所：ここで良い72%・良くない28% ○映画祭との同時開催：よい81% ○次回開催：開催78%

○他団体との交流：できた81%

2 あいち国際女性映画祭 2008 田原市会場

[開催目的] 男女共同参画社会の実現に向けて、女性を取り巻く諸問題や生き方など女性監督(女性の視点)による様々なテーマの映画作品の上映、ゲストトークなどを通じて社会のあり方を考える。

[開催日] 平成20年9月6日(土) 13:00~15:40

[会場] 田原文化会館文化ホール

[主催] 田原市(企画課) ※田原市のほか、北名古屋市、小牧市、日進市、弥富市で実施

[共催] 財団法人あいち男女共同参画財団、あいち国際女性映画祭2008運営委員会

[上映映画] ティラミス(オランダ映画)

[来場者] 約220人 ※入場料600円(当日1000円)、販売枚数302枚

[実施状況]

■オープニングコーラス 13:00(10分)

■舞台あいさつ(市長、映画監督、男女フェス実行委員長) 13:10(15分)



■映画上映 13:25(90分) ※上映中、監督夫妻の市内案内を実施



■ゲストトーク 14:55(30分)



[来場者アンケート]

- ・来場者の6割は、50~60歳代(女性が7割)。
市内74%・市外26%。
- ・映画内容は、満足21%・普通56%・不満9%
- ・希望する制作国は、日本28%・アジア21%・ヨーロッパ18%
- ・来年の開催は、この形式による開催希望54%・映画上映27%

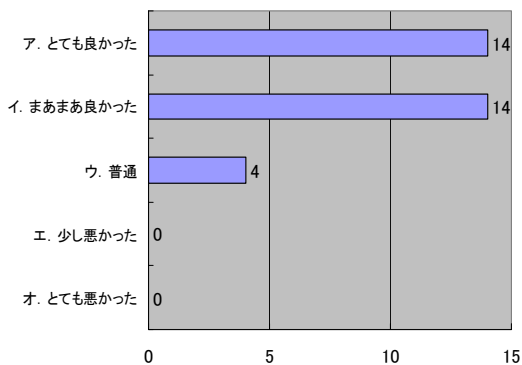
3 男女共同参画フェスティバル参加者・団体アンケート結果

参加者・団体に対する事後アンケートの結果は次のとおりでした。*9月16日発送：10月1日回答締切り

■回答 32 団体（回答者）

【1】ナイトミルク会（伊藤立） 【2】フレンドシップ・キルターズ（國崎弘美） 【3】あつみロビーコンサート運営スタッフ会（鈴木照美） 【4】あかばねひらがなの会（大田としゑ） 【5】地域活動センターなのはな（利用者） 【6】伊藤敬子 【7】赤羽根エコサークル（度会里美） 【8】たはら国際交流協会（近藤信子） 【9】女性会議ウィフト（平野利依） 【10】たはらフラチーム“花”（鈴木反子） 【11】伴恵子 【12】金沢ヒューマン文庫を愛し守る会（三浦弘恵） 【13】どろんこ村ファーマーズキッチン（渡部千美江） 【14】ペシャワール会豊橋・蒲郡支部（山岸よし子） 【15】手しごと屋豊橋（内藤節子） 【16】人づくりネットワークメリーゴーランド（永井和子） 【17】あかばね学びの会（永田みよ江） 【18】手作り着せ替え布人形（永田和代） 【19】Titii（山田智子） 【20】豊生ら・ばるか（渡部隆久） 【21】長子たちの陶芸グループ（渡辺長子） 【22】子どもネイチャー教室（川口らみ代） 【23】東海日本語ネットワーク（鈴木勝代） 【24】難病のこども支援東海ネットワーク（中神佐和子） 【25】にんじんの会（全員回答） 【26】伝統文化ひろしき風の会（伊藤わか子） 【27】とよはし男女共同参画推進ネットワーク（鈴木真理子） 【28】東三にじの会（大田和美） 【29】豊川共生ネットみらい（久村和子） 【30】渥美混声合唱段（宮川潔） 【31】たはら太極拳教室（河合和子） 【32】田原市民活動支援センター（小澤美穂子）

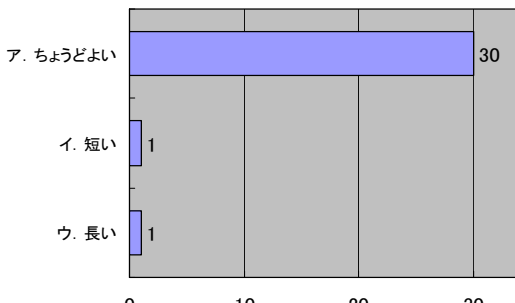
(1) フェスティバルについて



「良かった」 88% (28/32 団体)

- 初めてとしては「とても良かった」が、続けていくなら工夫も必要。【4】
- パネル展示だけでなく販売物もたくさんあって良かったと思う。とても楽しかったから次回は是非誘ってくださいと言われた。【7】
- いろいろな団体・個人を繋ぎ、よくこれだけの企画ができたと思う。【9】
- もう少し展示販売があればいいですね。【10】
- ステージとブースの距離がやや近すぎたかなという思いがしました。演者の声が大きすぎたり、雑音で演者に申し訳なく感じた。【12】
- 初めて参加させていただき、アフガン拉致、伊藤和也さんの死で皆さんにもペシャワール会を知っていただき、心に留めて頂いた事と思います。ありがとうございます。【14】
- 田原市内の女性グループを数多く知ることができた。【17】 ○いろいろな人との出会いがうれしかった。【21】
- ステージあり、パネルあり、ラウンジありでとてもコミュニケーションがとれました。【22】
- あかばねまなびの会のブースが参考になった。【24】
- 田原市の皆様と楽しく交流できました。参加してよかった。【26】
- 田原市の各グループが1つになって盛り立てようとする熱意が感じられた。【27】
- 初めての試みでもあり、今後取舍選択をしていけばいいと思う。【30】

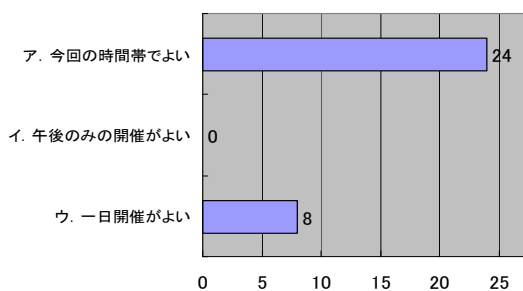
(2) 開催時間について



88%が「時間（長さ）は良かった」（28/32 団体）

- 短い感じもするが、短時間集中でよい。【4】
- 映画祭と同日の開催時であればちょうどよかった。【6】
- 映画が終わった後、4時まで販売となっていたけれど、それ前に片付けたりするところもあり、バラバラした感じがしたので、午前中は展示、販売、午後は映画にしたほうがよかったと思う。【11】
- 時間前に皆さんが片付けていたのがとても残念だった。【22】
- あまり長時間だとだれるので、午前とか午後とか時間を限定した方が相手にとって良いと思う。【27】
- 今のままで良いと思うが、数年後に別の時間帯で行えば数字上また違った結果がでるかも。【30】

(3) 開催時間帯について

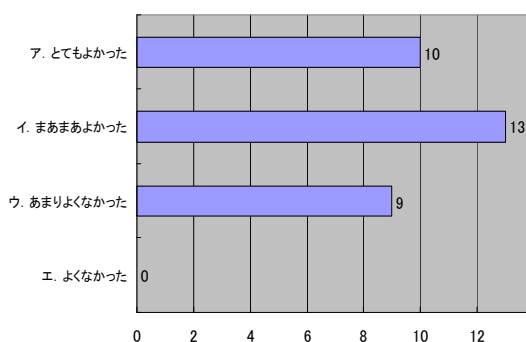


74%が「時間帯は良かった」(24/32 団体)

- 映画が終わってからも、展示を見る時間があつたほうが良かったのではないかと。【3】
- 本年度はこれでよいが、次回開催の場合、もっとのんびり各ブースで語り合い、教えあふれあいの時がもっと欲しいと思う。【4】
- 今回は終了時間が早まってしまったので次回は終了時間を守って。(映画終了後、会場を訪れた人がいたが、空白のブースだったり、片付け中だったりしたから。)【7】

- 大体ほかのイベントと同じ時間帯で10:00～14:30位がいい。【16】
- 午後の映画へとつながり、丁度よかった。【29】
- 全く問題ないと思うのでしばらく今のままでどうでしょうか。【30】

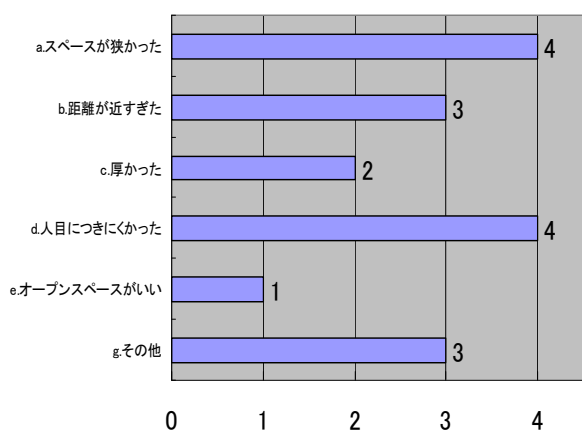
(4) 開催場所について



74%が「時間帯は良かった」(24/32 団体)

- 実演をされた方々にとっては少しお気の毒であったかもしれないが、まわりの方々も一緒になって参加出来、よかった。【6】
- 当会は「体験型」でしたのでスペースがもう少し欲しかった。隣のにんじんの会様の協力を頂きましたが。【26】

4-1 場所が良くないと回答した理由



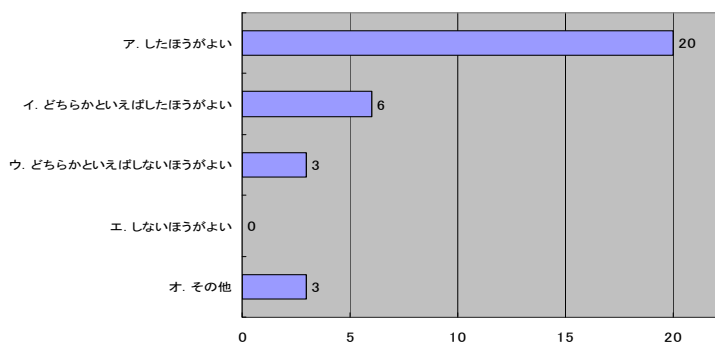
狭い(4 団体)、目につきにくい(4 団体)ほか

- アナトリウムも使うとよかった。閉じた場所でやっているとみられるかな。【9】
- もう少し隣や回りと距離があっても良かった。【11】
- 入口から帰る方が多く、花のプレゼントをもらわずに帰った人がいて残念でした。出口近くのパネルは見てもらえなかったのでは？【22】
- 展示販売の両方を申し込みましたが、参加団体一覧表には展示のみと書かれてあつたせいか、奥の方になってしまったので残念でした。【24】
- ステージの必要なグループと一緒にではせまいと思いました。【25】

(5) 資材等に関する要望

※特になし (回答者全員)

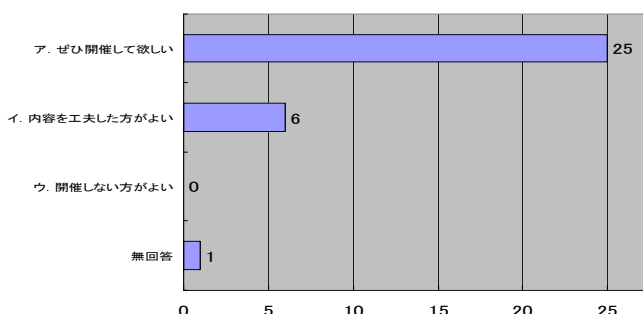
(6) 同日開催について



**81%が「同時開催に賛成」
(26/32 団体)**

- このフェスの意義は同日開催にあると思いますが、フェスティバルにもう少し力を入れたいのならば同時開催しない方がよい。【6】
- 相乗効果が出て、賑わいが人を呼ぶ。男性団体ブースも参加したらよかったと思う。【26】
- 少し主旨が違うと思われる。【32】

(7) 次回開催について



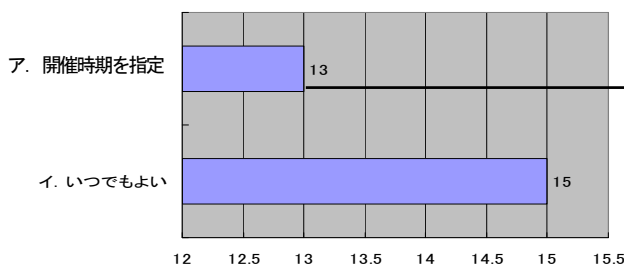
78%が「開催を希望」(25/32 団体)

【関連意見】

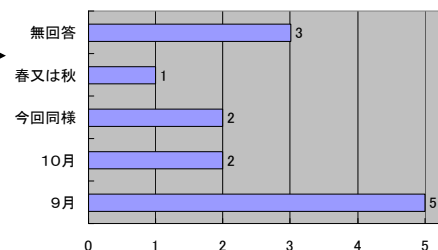
- 男女共同参画と私の様な個人参加のつながりがよくわかりませんでした。【6】
- 各団体の活動内容の紹介もありよかったが、販売に重点を置いているブースもあり、どうかと思った。【12】
- ステージ発表・展示場所・休憩所等全て多目的ホールに集中し、人の声でうまく聞こえないときがあった。【16】
- もう少し場所が広いのがよい。【31】

7-1. 開催時期はいつごろが良いか

開催時期の希望



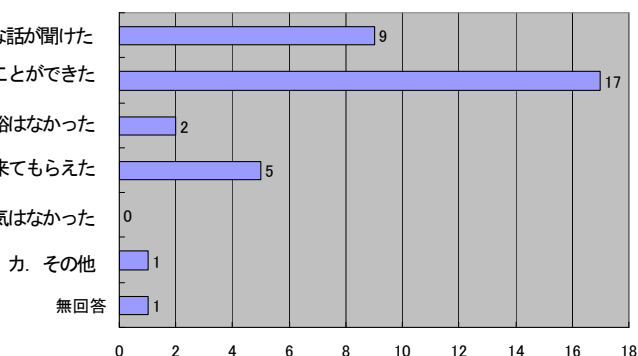
**47%が「いつでも良い」(15/32 団体)
9月開催(5 団体)、10月開催(2 団体)**



- 季節的にはいいが、この頃は各地区の祭りやイベント等と重なると思う。【6】
- 10月、11月は田原市の催しが多いので避けた方がいい。【8】
- 近隣の女性団体のフェスティバルの日時と少し変え、連携して日時設定をすると楽しいと思います。【27】
- 映画祭と同日開催がよい。【28】
- いつでもよいが、大きなイベントに近いことは外した方がいい。【30】

(8) 他団体との交流

- ア. 各ブースをまわっているいろいろな話聞いた
- イ. お互いに忙しく、話あえる時間はなかったが、展示物を見ることができた
- ウ. 忙しくて各ブースを回る余裕はなかった
- エ. 自分は回れなかったが、他の団体さんから来てもらった
- オ. 他の団体と交流する気はなかった
- カ. その他
- 無回答



(9) 気づいた点、要望などの意見

- 1 このフェスティバルの開催を知らない方がかなりありました。もう少し前宣伝があってもよいのではないのでしょうか。【2】
- 2 各ブースの一般の方の来場が少なかった様に思う。映画終了後にすぐ片付けが始まっていたが、お茶を飲めるブースもあったのでその映画の終了後の利用ができなかった。【3】
- 3 同じようなイベント（協働参画・市民広場・福祉の集い）が年3回も開催される。互いに主催者はバリアを張っているが共催にはならないだろうか。そうすると困ることも発生してくるものなのだろうか。今後の課題として考えておきたいと思う。【4】
- 4 本年度のように男女共同参画フェスとして続けていくなれば、主催者側は常に様々な講座等を開催し、本年度参加団体へ啓発し参加し学びあうとして、それらが終結し田原市男女共同参画団体（仮称）などへと発展していくことも考えたほうがよいのでは。【4】
- 5 もっと広い場所（アリーナなど）がいいのでは。廊下にも出店されていて、人通りが困難だったのでは。各スペースも狭いと思いました。【5】
- 6 他ブースのスタッフが映画の時間にはほとんどいなく、店が開いていたため、私たちの方へよく聞きにこられたので、仕方なく品物を販売してあげました。誰もいないなら店を閉めるか、責任者がいるとかした方がいいです。見に来た人たちに失礼だと思いました。気になってしかたなかった。【5】
- 7 何となく・・・わからないままに参加させていただきましたが、各ブースを見せていただき、良き刺激になり、良き勉強をさせていただきました。【6】
- 8 出口を間違えて入口から出て行く人を何人もみかけ声かけしましたので次回は出入口をもう一度考えて欲しい。ステージ・交流スペースの位置変更は？ステージ発表中、人の移動がちょっと大変だと思いました。【7】
- 9 場所が狭く、どの団体も余裕がない様に見受けられた。体育館他広い場所を提供頂けたらもう少しゆったりした場所で見ることが出来ると思います。【8】
- 10 6万人の市というこじんまりした特性を生かして交流も充実したものとなり、人も多く集まってよかった。先進の他市町村の参加が今後の田原市での男女共同参画フェスティバルの魅力として続くといいと思う。男女参画はゆるいネットワークがとても大切。【9】
- 11 一人で参加し販売したけれど、一人ではやはり大変でいろいろな方が手伝ってくださって、とても助かりました。最後がバラバラの解散だったので、どこかで締めがあれば片付けもバラバラにならずに済んだ気がします。映画の時は係の方が販売するものを見てくださっていたので映画が見られてよかったです。【11】
- 12 今回、オープンスペースではなかったため人の流れが少ないようにみられた。また、映画祭終了時に、司会者が一言案内をしてくれたら午後からも販売につながったと思う。バザーは午前中のみ販売となってしまう。【15】
- 13 実行委員として考えた（気づいた）のは入口と出口がごっちゃになっていて参加者はどちらが入口なのか把握できなかったと思います。また、花の苗は、映画祭終了後に配布すればよかったのでは？ステージ発表は一般のお客さんも見る事が出来るように広いスペースでやると良かった。【16】
- 14 展示物と発表ステージが同じであったため、太極拳やフラダンスなどに参加者すると通行できなくなっていた。特に、出口付近が込み合っていたので、次回は展示場と発表ステージ、お茶ルームなど工夫があると感じた。【17】
- 15 個人として、趣味で人形作りをしています。このイベントに参加したら「私もこの様な人形作りをしたい」という人に会えるかと思っていたが一人もいなかった。がっかりした。田原にこのようなことをしている人がいれば教えて欲しい。【18】
- 16 市内の保育園、小学校、中学校にポスター、ビラ等配布して宣伝したらもっといろんな人たちに来てもらえたんじゃないのかなあと思います。【19】

- 17 レイアウトがとても良かった。ステージに近く、フラダンスのレッスンとかも出来て良かった。会場がひとつになれたと思う。【22】
- 18 映画が難しかった。日本映画がみたい。【25】
- 19 男女共同参画フェスティバルの開催として、広告、看板、旗等会場入口、道路などになく、少し寂しく思うと同時に市外から来た者には不安感があったという話を聞きました。記念に撮った写真の中にもそれらしき看板はありませんでした。道案内、表示の意味も含めポスターなどを配布して欲しいと思いました。【27】
- 20 マイク音量の調節があまり上手くいってない様な気がしました。全体にこじんまりとひとつの会場に全てが集まったやり方は訪れた人にとってはとても楽なことだと思います。私達の用意した資料配布での来客人数は約200名でした。【27】
- 21 映画はよかったのですが場所によっては字幕の文字が見づらく内容がよく理解できない残念な思いをしました。【27】
- 22 主催者は忙しそうであまり話が聞けず、見るだけの受身に終わってしまって残念。他団体との交流は始めての方とはなかなか溶け込めなかった。【29】
- 23 回を重ねることで参加者にも認知してもらえと思うので活動を続けていくことがその啓発に繋がっていくと思います。【30】
- 24 「男女共同参画」を幅広く知ってもらうために、ハードルを低くして多くの関りをもつ人や団体に向けて、このフェスティバルが行われたことは意義があったと思う。対局に、私たちも含め、参加した人が主旨をどこまで認識して参加したのかを少々考える。【32】

以上

田原市男女共同参画に関する市民意識調査

【報告書要約】

平成20年10月総務部企画課整理

- ①目的 市の男女共同参画の現状及び市民意識を把握し、男女共同参画推進プランの効果的な推進を図る。
- ②調査方法 20歳以上の市民1,000人（性別・年代構成比を反映して抽出）に対する郵送によるアンケートを実施した。[発送] 7月下旬、[回収] 8月中旬
- ・回収結果：414件・41.4%（有効回答数405件）**

1 男女平等に関する意識

- 1 男女共同参画の取組を知らなかった者の割合は前回調査よりも低下（29.9%）。 ※知っていた37.5%
- 2 男女共同参画が必要な理由は、女性・男性ともに「男女とも多様な生き方を選択できるようにするため」が最多。
- 3 男女共同参画が充分達成されない要因の「家事などを女性の役割とする意識がある」が前回調査結果よりも増加
- 4 社会全体からみた場合、「平等である」と回答した割合は国の結果よりも低い。
- 5 「男性が優遇されている」と回答する割合は、前回調査よりも減少。
- 6 男女平等意識において、男性よりも女性の方が「男性が優遇されている」と回答する割合が高い。
- 7 女性の生き方は「仕事と家庭生活・地域活動を両立」の回答が最も多く、女性の回答では更にその傾向が強い。
- 8 男性の生き方は「家庭生活・地域活動よりも仕事優先」の回答が最も多く、男性の回答では更にその傾向が強い。
- 9 男性の生き方で「家庭生活・地域活動と仕事を両立」と回答した割合が前回調査よりも増加。

2 結婚、家庭生活に関する意識

- 1 家庭生活の役割は、理想は「男女同じ程度」だが、現実には「女性が担当」していることが多い。
- 2 家庭生活の現状で「女性がすべて担当」と回答した割合は前回より減少。
- 3 男性を家事・育児・介護に携わらせるには、「家庭での理解」と「社会の仕組みの改革」が必要。
- 4 結婚についての意識は個人の自由に賛成する傾向がある
- 5 「夫は仕事、妻は家庭」という価値観は、国の調査よりも“反対”する割合が低い。
- 6 「必ずしも子どもをもつ必要性はない」「結婚した相手に満足できない場合は離婚すればよい」という意識は、国や前回の調査よりも賛成する割合が低い。

3 子育て、子どもの教育に関する意識

- 1 「子どもは男女の別なく同じように育てた方がよい」と考える人の割合が前回よりも増加。
- 2 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てるという考え方は男性の方が多い。
- 3 「生活指導、進路指導」で男女平等に配慮する必要性を感じている女性が減少。
- 4 「学校教育における男女平等意識の育成に必要なこと」は、前回とほぼ変わらない。

4 働くことに関する意識

- 1 女性の退職理由では、前回調査よりも「結婚」が減少、「出産」が増加。
- 2 前回調査よりも「働く意志のない女性」が減少。
- 3 「女性は男性よりも職場で不当に差別されている」という意識が強い。
- 4 女性の職場で差別されていると感じる理由は、「賃金」「能力が正当に評価されない」などの回答が多い。
- 5 女性が働き続けるためには、職場と家庭の理解が必要。
- 6 「仕事・家庭生活・地域活動を両立している」人の割合は国の調査よりも低い。
- 7 「仕事・家庭生活・地域活動の関係」について、希望と現実が一致している人の割合は国の調査よりも高い。

5 地域活動・社会活動に関する意識

- 1 地域活動では、「ボランティア活動などの社会奉仕活動」に対する参加意向が高い。
- 2 地域活動に参加できない原因としては、「家事が忙しい」等が前回よりも減少。
- 3 自治会・町内会活動は、女性よりも男性の方が「男性が担当」と回答。
- 4 約半数が「施策づくりに今よりも多くの女性が参画した方がよい」と回答。
- 5 委員への女性登用率が低い理由は、「女性の社会進出を支える条件整備の不足」、「女性自身が社会進出に消極的」という認識が高く、「家庭があるため社会進出できない」と回答した割合が前回調査時よりも減少。

6 介護に関する意識

- 1 介護の理想は「家族全員で世話をすること」だが、現状は女性が世話をしている。
- 2 前回よりも「娘や嫁などが介護を行っている」と回答した割合が少し減少。

7 人権に関する意識

- 1 女性の1割弱はセクシャル・ハラスメントを経験している。
- 2 女性の約3割が「暴力行為等を受けている」と回答しているものの、「ドメスティック・バイオレンスを経験」の回答は7.8%と少なく、自分が受けた暴力等をドメスティック・バイオレンスと認識していない可能性がある。
- 3 20歳代、30歳代は重大な暴力を受けることが多い傾向がある
- 4 暴力を受けた人のうち約半数は誰にも相談しておらず、その理由は「相談するほどのことでもない」がトップ。

8 国調査との比較（特性） …… 5項目について国と市の調査結果を比較

<1>社会全体の男女平等感

- 男女平等と回答した率
 [国 20.9%：田原市 6.9%]
 ※田原市は「わからない」の回答率が高い
 [国 1.7%：田原市 12.8%]

<2>家庭生活の男女平等感

- 男女平等と回答した率
 [国 42.0%：田原市 17.3%]
 ※田原市は「男性優遇」の回答率が高い
 [国 48.2%：田原市 66.7%]

<3>夫は外で働き、妻は家庭を守るべき

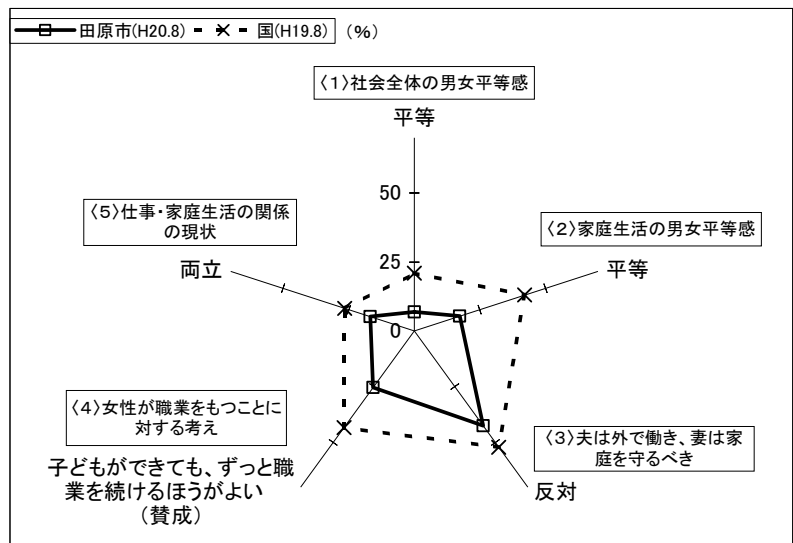
- 反対と回答した率
 [国 23.4%：田原市 17.8%]
 ※田原市は「わからない」の回答率が高い
 [国 3.2%：田原市 11.1%]

<4>女性が職業を持つことに対する考え

- 子どもができててもずっと職業を続けるほうがよいと回答した率 [国 43.3%：田原市 25.4%]
 ※田原市は「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の回答率が高い [全国 33%：田原市 41.7%]

<5>家庭生活・地域活動と仕事の関係（現状）

- 家庭生活・地域活動と仕事を両立していると回答した率 [国 26.5%：田原市 16.8%]
 ※田原市は「仕事を優先（仕事に比重を置く）」の回答率が高い [国 27.7%：田原市 58.2%]



《傾向分析》 全項目で国の調査を下回っている。

9. 全体集計における特徴的事項のまとめ

男女共同参画社会の推進に関する回答状況

- 1 「取り組みを知らなかった」が約3割 <前回調査より減少>
- 2 必要理由は、「能力・個性を発揮した多様な生き方が選択できる社会づくり」が約6割 <前回調査より増加>
- 3 阻害要因は、「家事・育児・介護などを女性の役割とする意識がある」が3割 <前回調査より増加>
<「社会全体に男性優位の考え方や慣行が根強い」は前回調査より減少>
- 4 推進策は、「保育・介護サービスの充実」が4割、「女性差別・暴力根絶」や「男女平等」が2割

男女平等に関する回答状況

- 1 「男性優遇と感じる」が7割、平等は、「学校教育」が5割、「法律や制度」が4割
- 2 男性優遇と感じることは、「慣習やしきたり」が7割、「家庭生活」と「職場」が6割
- 3 「職場は女性に不利」に賛同4割、否定意見1割

望ましい生き方に関する回答状況

- 1 希望としては、男女とも「家庭生活・地或活動と仕事を両立」が3割と最も高い（現状は2割を切る）。
- 2 男性は「仕事優先」、女性は「家庭生活・地或活動優先」の傾向が強い。
- 3 「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」に賛成3割、反対5割。
- 4 「相手に満足できなければ離婚すればよい」に賛成3割、反対4割。

男女の役割分担に関する回答状況

- 1 役割分担の理想は、「家事は男女同程度又は女性が主で男性手伝い」、「近所づきあいは男女同程度」であるが、現実には「家事は女性」が分担している。 <「すべて女性が担当する」が前回調査より減少>
- 2 男性が家事・育児・介護に携わるためには、「十分な話し合い」と「社会全体の仕組みを改める」が必要。
- 3 「女性は結婚したら家庭中心に生活した方がよい」に賛成・反対の割合はともに4割。
- 4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」に賛成・反対の割合はともに4割。

子どもの育て方に関する回答状況

- 1 「男らしく、女らしくがよい」が4割、「男も女も区別しない方がよい」が3割（前回調査より増加）
- 2 学校教育に必要なこととして、「生活や進路で男女の別ない指導」、「異性を思いやる気持ちを教える」、「男女ともに家事・育児・介護を学習」が各6割程度

就業環境に関する回答状況

- 1 就業理由の5割が「生計を立てるため」（前回調査より増加）、2割が「家計の足しにするため」
- 2 女性の6割が退職の経験を持ち、その理由は結婚が4割<前回調査より減少>、出産が2割<増加>。
- 3 育児のために職に就けない女性が2割（働けない理由として最も高い）
<前回調査より「育児により働けない」「働く意思がない」女性が減少>
- 4 女性が働ける環境として必要なことは、「職業・家庭両立への職場の理解」が6割、「夫・家族の理解・協力」が5割、「育児・保育への支援充実」が3割 <前回調査より「育児・保育に対する支援」が増加>
- 5 職場において、「男女差別はない」が6割、「不当な差別がある」が1割。
- 6 女性が不当差別を感じるのは、「賃金の差別」が最も高く、「能力が正當に評価されない」が続く。

その他の回答状況

- 1 「ボランティア活動への参加意欲」は男女ともに高いが、「自治会活動・青少年活動等への参加意欲」は低く、その理由は仕事などで忙しいこと
- 2 施策づくりの場に、「女性代表者が増えるとよい」が5割、「半分は女性代表者が占めるべき」が1割
<前回調査より「女性代表者が増えるとよい」が減少>
- 3 委員会への女性登用率が低い理由は、「女性の社会進出条件が不十分」が4割、「女性自身が消極的」が3割。
- 4 介護の理想は、「家族全員での世話」が4割、「介護保険制度利用」が3割、「介護施設利用」が2割。
- 5 一般的知識として、セクシャル・ハラスメントの認知度は6割。
- 6 一般的知識として、ドメスティック・バイオレンスの認知度は5割で、2割以上が被害者からセクシャル・ハラスメントを受けた経験があるが、そのことを他人に相談した経験はうち3割に留まる。

10. 男女別集計の特徴事項

男女共同参画社会の推進に関する回答状況

- 1【男性の回答】 男女共同参画の取り組みを知っていた割合は女性よりも高い。
- 2【女性の回答】 男女共同参画の必要理由として、「労働力人口が減少する中で、多様な人材が求められ、女性の能力を十分に活かすことが必要になること」を挙げる割合は男性よりも高い。
- 3【女性の回答】 男女共同参画の阻害要因として、「家事・育児・介護などを女性の役割とする意識がある」を挙げる割合は男性よりも高い。
- 4【男性の回答】 男女共同参画の阻害要因として、「男女共同参画の考え方が市民に広く浸透していないこと」と「社会全般に男性優位の考え方や慣行が根深い」を挙げる割合は女性よりも高い。
- 5【女性の回答】 男女共同参画の推進策は、「保育・介護サービスの充実」が5割で、男性よりも1割以上高い。
- 6【男性の回答】 男女共同参画の推進策は、「政策決定の場への女性登用」と「女性リーダーの育成」の割合が女性よりも高い。

男女平等に関する回答状況

- 1【女性の回答】 「男性の方が優遇されている」と感じる割合は男性よりも高い。
- 2【女性の回答】 すべての項目において、男性より平等感が低い。
- 3 「法律や制度は男女平等と認識している」のは、男性が5割、女性が3割（差が大きい）。

望ましい生き方に関する回答状況

- 1【女性の回答】 家庭生活・地域活動と仕事のバランスの理想としては、女性には「両立」（4割）と「家庭・地域を優先」（4割）、男性には「仕事優先」（4割）と「両立」（4割）を求める割合が高い。
- 2【男性の回答】 家庭生活・地域活動と仕事のバランスの理想としては、女性には「家庭・地域を優先」（3割）と「両立」（3割）、男性には「仕事優先」（5割）と「両立」（4割）を求める割合が高い。
- 3【女性の回答】 「離婚すると女性の方が不利である」に賛同する割合は男性より高い。

男女の役割分担に関する回答状況

- 1 家庭における役割分担として、女性は男性よりも「すべて女性が担当」と回答する割合が高く、男性は女性よりも「男女同じ程度」と回答する割合が高い（現状に対する意識差がある）。
- 2【男性の回答】 家庭での役割分担の理想として、食事関係をすべて女性に求めている割合は女性より高い。
- 3【男性の回答】 男性が家事・育児・介護に携わるには、「社会全体の仕組みを改める」の割合は女性より高い。
- 4【女性の回答】 男性が家事・育児・介護に携わるには、「家庭・学校での教育の必要性」の割合は男性より高い。
- 5 男性は「女性は結婚したら家族中心の生活」に賛成の割合が高く、女性は反対の割合が高い。
- 6 男性は「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」に賛成の割合が高く、女性は反対の割合が高い。
- 7 男性は女性よりも、「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」に反対が1割程度多い。

子どもの育て方に関する回答状況

- 1【男性の回答】 「男らしく、女らしくがよい」が5割を超え、女性よりも2割高い。
- 2【女性の回答】 学校教育では「男女ともに家事・育児・介護を学習」の必要性は男性より高い。

就業環境に関する回答状況

- 1 「生計を立てるために働いている」は、男性で7割、女性で4割。
- 2 職場において「不当な差別が多い」と感じる割合は、男性よりも女性の方が高い。

その他の回答状況

- 1【女性の回答】 自治会活動する参加（参加意志）の割合は男性より低い。
- 2 「施策づくりに女性代表者が参加すべき」という考えは、女性よりも男性の方が多い。